

地域包括ケアモデル事業について

1 内容

「地域包括ケアシステム構築に向けた提言」で提示されたモデルについて、モデル地区を設定して平成26年度から3年間モデル事業を実施し、地域の特性に応じた具体的なシステムを構築する。

モデルについては、最初にシステムの要となる医療・介護等の関係機関による連携体制を構築し、その後段階的に介護予防、生活支援、住まい対策の取組を進めていく。

2 実施市

モデル	箇所数	実施市
地区医師会モデル	3か所	安城市、豊川市、田原市
訪問看護ステーションモデル	1か所	新城市
医療・介護等一体提供モデル	1か所	豊明市
認知症対応モデル	1か所	半田市
単年度モデル（26年度のみ）	3か所	岡崎市、豊田市、北名古屋市

※ 平成26年度においては、地区医師会モデル及び医療・介護等一体提供モデルは在宅医療連携拠点推進事業と併せて実施。

【モデルの説明】

モデル	説明
地区医師会モデル	市町村と地区医師会が中心となって、在宅医療提供体制を整えるとともに、医療・介護・福祉の関係機関の連携ネットワークの構築及び、地域包括ケア全体のマネジメント体制の構築を行う。
訪問看護ステーションモデル	医療資源が限られた地域で、訪問看護ステーションが中心となり、市町村、地区医師会と連携しながら、ネットワークを構築するとともに、地域包括ケア全体のマネジメント体制の構築を行う。
医療・介護等一体提供モデル	医療・介護等を一体提供する法人が、市町村、地区医師会と連携し、システムの構築を行う。
認知症対応モデル	認知症に対応した新たな取組を行うなど、認知症対応に重点を置いてシステムの構築を行う。
単年度モデル	上記のモデル事業等を実施しない圏域において、医療と介護の連携等に集中的に取り組む。

3 3年間の主な取組（単年度モデルは26年度のみ）

26年度	<ul style="list-style-type: none"> 関係機関のネットワーク化（関係機関連絡会議、地域ケア会議の開催等） 医療と介護の連携（ICTを活用した情報共有、多職種の研修、普及啓発等） 認知症に関する多職種の研修、普及啓発（認知症対応モデル）等
27年度	<ul style="list-style-type: none"> 1年目の取組の継続 高齢者の社会参加・生きがいと融合した予防の取組（高齢者の介護予防のための通いの場を、元気な高齢者にボランティアとして参加してもらいながら開催等） 不足している生活支援サービスの強化策の取組の検討 要介護等の高齢者の住まいの課題に対する具体策の検討 認知症に対応した新たな取組（認知症カフェの設置等）（認知症対応モデル）等
28年度	<ul style="list-style-type: none"> 1、2年目の取組の継続 不足している生活支援サービスの強化策の実施 要介護等の高齢者の住まいの課題に対する具体策の実施 認知症に対応した取組の充実（認知症カフェの運営等）（認知症対応モデル）等

4 普及啓発

モデル事業の実施について、他の市町村や関係機関等に周知を図るため、キックオフ・イベントとして説明会を開催するとともに、圏域保健医療福祉推進会議において説明を行った。

また、平成26年10月末には、モデル事業の進捗状況等の中間報告を、他の市町村や関係機関等に対し実施した。

今後、年度末には、モデル事業の1年間の実施状況や、そこで明らかになった課題等を、他の市町村や県民の皆様方へお知らせするための報告会を開催し、地域包括ケアシステム構築に向けた取組を県内各地域に広めていく。

○説明会

開催日 平成26年6月30日（月）

場 所 ウィルあいち 3階 大会議室

出席者 市町村職員、愛知県医師会会員、医療・介護・福祉等団体関係者、地域包括支援センター職員等303名

○圏域保健医療福祉推進会議における説明

開催日 平成26年8月6日（水）～8月25日（月）

場 所 県保健所（12の医療圏で実施）

出席者 市町村職員、愛知県医師会会員、医療・介護・福祉等団体関係者等

○中間報告会

（在宅医療連携拠点推進事業・地域包括ケアモデル事業合同活動報告会）

開催日 平成26年10月31日（金）

場 所 愛知県自治研修所 8階 講堂

出席者 市町村職員、愛知県医師会会員、医療・介護・福祉等団体関係者、地域包括支援センター職員等172名